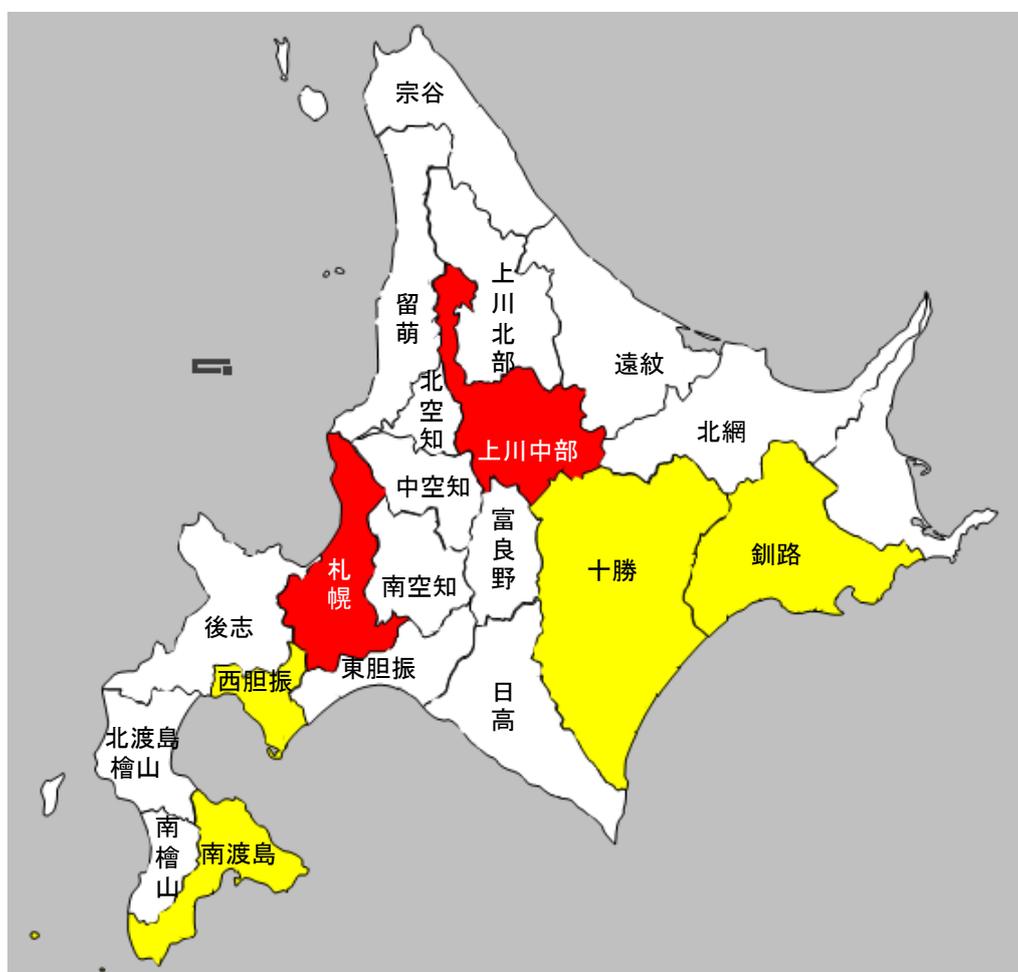


# 1. 北海道



## 1. 北海道

## A. 医療提供体制の現状

北海道の特徴は、(1)全道的に潤沢な病床と看護師、拠点となる地域に集中した医師、(2)面積が広いこと、医療機関が広い範囲をカバーしていること、(3)札幌以外に、旭川、函館、室蘭、帯広、釧路、砂川、北見などに医療拠点となる都市が点在していることである。

## (1) 全道的に潤沢な病床と看護師、拠点となる地域に集中した医師

北海道全体の人口当たりの「病床数」は多く、偏差値60を超える医療圏も多い。介護を必要とする高齢者向けの「総高齢者ベッド数」も、全道にわたり高齢者施設ベッドが整えられている。

一方「病院勤務医」は、全道平均の偏差値が52であるが、偏差値50を超えている医療圏は、南渡島（函館）、札幌、中空地（砂川）、西胆振（室蘭）、上川中部（旭川）、上川北部（名寄）の6つの医療圏のみであり、他の医療圏は50を切っている。特に日高と根室の医療圏は偏差値40を切っており、医師不足の特に激しい地域である。

「全身麻酔数」でみると全国平均の50を上回るのは、南渡島（函館）、札幌、中空地（砂川）、西胆振（室蘭）、上川中部（旭川）、十勝（帯広）、釧路の7医療圏のみである。

「総看護師数」が61と、いずれも全国平均を上回っている。看護師も全道的に充実しており、日高（45）、宗谷（49）、根室（42）を除けば、全ての医療圏で偏差値50を超えている。特に、南渡島（函館）～北渡島檜山（長万部）～西胆振（室蘭）～札幌～北空知（深川）・中空地（砂川）～上川中部（旭川）の北海道西部と釧路は、看護師に関しても偏差値60を超えている。

## (2) 面積が広いこと、医療機関が広い範囲をカバーしている

人口密度が50人/km<sup>2</sup>を下回っている医療圏が、各地に広がっている。これらの地域では、数十キロに一つ程度、町立や国保の病院が存在し、地域医療を担っている。一方、名寄、帯広、釧路などの都市を除けば、高度医療を必要とする入院患者が発生した場合、数十キロから100キロ以上離れた基幹病院まで患者を搬送する必要があることが北海道の医療の大きな特徴と言える。地域レベルの病院は、数十キロ範囲の地域の患者を、基幹病院は数百キロ範囲の地域の患者を診療対象として運営されている。

## (3) 札幌以外に、医療拠点となる都市が点在している

北海道は、医療を含め、「札幌一極集中」の印象が強いが、医療に関しては札幌以外に複数の拠点が道内に存在している。札幌医療圏には、全道の43%の人口が集中しているが、総高

## 1. 北海道

高齢者ベッドの 34%、病床数および一般病床の 42%、病院勤務医の 49%、全身麻酔の 47%、看護師数の 44%が集中しているにとどまり、ほぼ人口見合いの医療資源が集まっていることがわかる。

一方、南渡島（函館）、西胆振（室蘭）、中空地（砂川）、上川中部（旭川）、上川北部（名寄）、北網（北見・網走）、十勝（帯広）、釧路などに、地域の基幹病院が存在し、南渡島（函館）、西胆振（室蘭）、中空地（砂川）、上川中部（旭川）などは、人口当たりで見ると、札幌と引けをとらない医療資源が存在している。

以上をまとめると、病床と看護師は全道的に全国水準を超えるレベルで整備されているが、医師不足の地域が多いことが北海道の特徴と言える。全身麻酔数の偏差値 50 を超える札幌、川上中部（旭川）、南渡島（函館）、西胆振（室蘭）、中空地（砂川）、十勝（帯広）、釧路地域の基幹病院に医師が集まり、他の地域は機能レベルの高くないが比較的潤沢な病床を有する町立や国保の病院を、数少ない医師と比較的潤沢な看護師により運営されている様子が見えてくる。過疎地域で高度医療を必要とする入院患者が発生した場合、数十キロから 100 キロ以上離れた基幹病院まで、救急車やヘリコプターを用いて患者を搬送している。

### B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

（南渡島）

南渡島（函館）は、病床数の偏差値は 64、一般病床数 66、病院勤務医数 52、全身麻酔数 58、総看護師数 65 であり、急性期病床の過剰感が強い。2010→35 年の総人口が 29% 減少、75 歳以上の高齢者は 27% 増であり、医療の総需要は 10% 減、0-64 歳の医療需要は 40% 減である。急性期病床の削減を検討する必要があるだろう。

（南檜山、北渡島檜山）

南檜山、北渡島檜山は、人口密度が 20 人/㎢以下の過疎地域である。人口当たりの病床数、一般病床数、総看護師数が多く、病院勤務医数と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。高度急性期の医療が必要な場合、南渡島（函館）に依存している。この地域は 2010→35 年に 4 割近く人口が減少し、大幅な施設強化が難しいので、現在の医療提供水準の維持し、函館との医療ネットワークの強化が望まれる。

（札幌）

札幌へは北海道の人口の 43%が集中し、人口見合いよりも多めの医療資源が集中している。北海道の医療資源は全国水準より高く、更に札幌はその平均より高いので、札幌の人口当たりの病院勤務医数の偏差値が 55、全身麻酔数 55、総看護師数 63 と、高い水準にある。札幌は 2010→2035 年にかけて総人口 9% 減、後期高齢者 96% 増であり、医療の総需要 23% 増、0-64 歳の医療需要 24% 減、後期高齢者医療需要 96% 増である。急性期病床は、現状維持また

は一部亜急性、回復期、療養などへの転換が望ましい。また、今後激増する高齢者向けの医療施設やケア付き住宅の大幅な強化が必要である。

(後志)

後志(小樽)は、病床数、一般病床、看護師が多いが、全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。後志は札幌への依存が強い。総医療需要は15%減、0-64歳の医療需要は4割以上減少するので、現在多い病床の削減の検討が必要であろう。

(南空知、北空知)

南空知(夕張)、北空知(深川)は、病床数、一般病床、看護師が多いが、全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。南空知は札幌への依存が強く、北空知は上川中部(旭川)への依存が強い。総医療需要は15%減、0-64歳の医療需要は4割以上減少するので、現在多い病床の削減の検討が必要であろう。

(中空知)

中空知(砂川、滝川)は、病床数、一般病床、病院勤務医、全身麻酔数、看護師ともに多く、日本の過疎地で最も医療の充実した地域の一つである。しかし今後総医療需要は18%減、0-64歳の医療需要は4割以上減少するので、急性期病床の過剰に対する検討が必要である。

(西胆振、東胆振)

西胆振(室蘭)は、人口20万の地域に全身麻酔年間1,000件を超える病院が3つ存在し、病院勤務医数の偏差値が54、全身麻酔数61、看護師数72であり、急性期医療は過剰な状態にある。更に、2010→35年にかけて総人口が31%減少、総医療需要13%減、0-64歳の医療需要41%減なので、過剰状態に対する対策は避けて通れない。

東胆振(苫小牧)は、病院勤務医の偏差値45、全身麻酔数48、看護師数55と、医学部の無い地方都市としては、悪くない医療提供レベルである。2010→35年の総医療需要が7%増、0-64歳が35%減、75歳以上が73%増なので、一般病床を高年齢対応病床に一部転換する方向で、今後の対応が可能と思われる。

(日高)

日高は、人口密度が20人/km<sup>2</sup>以下の過疎地域である。病院勤務医の偏差値38、全身麻酔数32、看護師数45と、医師も看護師も非常に足りない状況にある。2010→35年の総医療需要が12%減であるが、現在の危機的な状況を乗り切るために、病院医師派遣などの即効性の高い対策の実施が望まれる。

(上川中部)

上川中部(旭川)には、日本最北の医学部である旭川医大がある。道東・道北の医療の拠点となる複数の病院があり、病院勤務医の偏差値 60、全身麻酔数 64、看護師数 68 であるが、一般病床の偏差値が 71 であり、旭川市内の過剰感は強い。この地域の 2010→35 年の総人口が 23%減、周辺地域は更に人口減少が激しいことを考えると、将来に向けた過剰に対する対策を考える必要があるだろう。

(上川北部)

上川北部(名寄)は、人口密度が 20 人/km<sup>2</sup>以下の過疎地域である。基幹病院である名寄市民病院は、宗谷や留萌の患者を数多く受け入れ、道北の医療を支えている。ある水準の医療を維持するには、ある程度の規模が必要なので、今後のこの地域及び周辺の人口減少を考えると、現状の機能を維持することが目標である。2010→35 年の総医療需要が 20%の減少であるが、現在の危機的な状況を乗り切るために、病院医師派遣などの即効性の高い対策の実施が望まれる。

(富良野、留萌)

富良野、留萌は、人口密度が 20 人/km<sup>2</sup>以下の過疎地域である。人口当たりの病床と看護師は多いが、病院勤務医と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。高度な医療は、上川中部(旭川)や札幌への依存が強いが、移送に 2 時間以上を擁することもあり、ヘリコプターによる移送が行われることも少なくない。この地域の総医療需要が 1~2 割減少するので、集約とネットワークを基本に地域の医療機能を維持することが求められる。

(宗谷、遠紋)

この 2 地域は、4,000-5,000 平方キロと広大な面積を擁し、人口密度が 20 人/km<sup>2</sup>以下の過疎地域である。医療機関と医療機関の間が数十キロ離れ、患者の移送に大きな労力を要する。人口当たりの病床と看護師は多いが、病院勤務医と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。高度な医療は、名寄や上川中部(旭川)への依存が強いが、2 時間以上を擁することもあり、ヘリコプターによる移送が行われることも少なくない。この地域の総医療需要が 2 割程度減少するので、集約とネットワークを基本に、名寄や旭川との連携を中心に医療機能を維持することが求められる。

(北網)

北網(北見、網走)は、旭川から知床半島までの 5,500 km<sup>2</sup>を超える広大なエリアをカバーしている。北見が医療提供の拠点であるが、移送に 1 時間以上を擁することも少なくない。人口当たりの病床と看護師は多いが、病院勤務医と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。この地域の総医療需要が 2 割程度減少するので、集約と地域内のネットワークの強化を基本に、現在の医療機能を維持することが求められる。

### (十勝)

この医療圏は、日本で一番大きな医療圏である。十勝は帯広に医療の拠点があるが、域内の遠方から医療拠点まで100km以上の距離がある。帯広は、医療提供体制が充実し、域内の人口が35万人なので、人口当たりの病院勤務医数の偏差値が47、全身麻酔数が52、看護師数が57と、医学の無い地方としては、充実している。2010→35年の医療の総需要は6%増、0-64歳は35%減である。今後、一般病床を高年齢者対応病床に一部転換する対策が必要になるだろう。また帯広以外の地域は、集約と地域内のネットワークの強化を基本に、帯広との連携を中心に医療機能を維持することが求められる。

### (釧路)

この医療圏は、日本で二番目に大きな医療圏である。釧路に医療の拠点があるが、域内の遠方から医療拠点まで100km以上の距離がある。釧路の医療提供体制が充実し、域内の人口が25万なので、人口当たりの病院勤務医数の偏差値が48、全身麻酔数が61、看護師数が62と、医学の無い地方としては、非常に充実している。2010→35年の医療の総需要は、10%減、0-64歳は46%減である。今後、急性期病床の過剰に対する対策が必要になるだろう。また釧路以外の地域は、集約と地域内のネットワーク強化を基本に、釧路との連携を中心に医療機能を維持することが求められる。

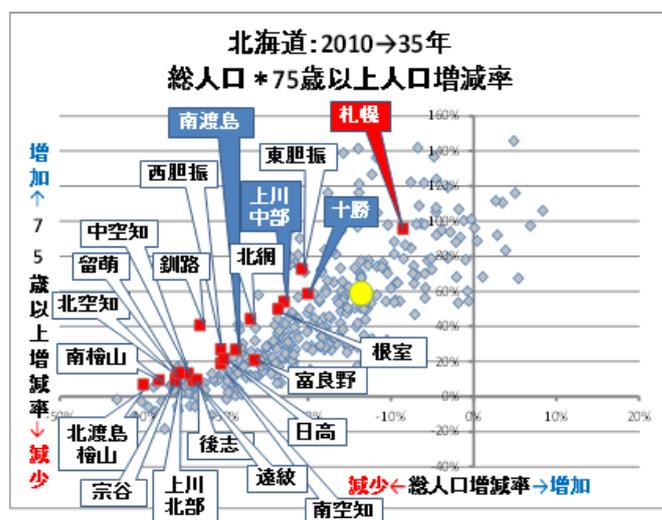
### (根室)

病床も、病院勤務医も、全身麻酔数も、看護師数も非常に少ない北海道でも最も医療密度の低い医療圏である。2010→35年の医療の総需要は1%減、0-64歳は36%減と北海道では減少が少ない方であり、現在の危機的状況を緩和するために、早急に医療提供体制の強化が必要である。

表 1-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
北海道	5,506,419	8位	78,459	1位	70.2		25%	-20%	54%
南渡島	402,525	7%	2,670	3%	150.8	地方都市型	27%	-29%	27%
南檜山	26,282	0.5%	1,423	1.8%	18.5	過疎型	33%	-38%	9%
北渡島檜山	41,058	1%	2,474	3%	16.6	過疎型	31%	-40%	7%
札幌	2,342,338	43%	3,540	5%	661.7	大都市型	21%	-9%	96%
後志	232,940	4%	4,306	5%	54.1	過疎型	31%	-34%	9%
南空知	181,886	3%	2,563	3%	71.0	過疎型	31%	-31%	19%
中空知	118,662	2%	2,161	3%	54.9	過疎型	33%	-35%	13%
北空知	35,706	1%	1,067	1%	33.5	過疎型	36%	-36%	10%
西胆振	200,231	4%	1,356	2%	147.6	過疎型	30%	-31%	27%
東胆振	216,058	4%	2,342	3%	92.3	過疎型	23%	-21%	73%
日高	75,321	1%	4,812	6%	15.7	過疎型	27%	-30%	22%
上川中部	403,246	7%	4,238	5%	95.1	地方都市型	27%	-23%	54%
上川北部	71,630	1%	4,197	5%	17.1	過疎型	31%	-36%	9%
富良野	45,489	1%	2,184	3%	20.8	過疎型	27%	-26%	21%
留萌	55,782	1%	4,020	5%	13.9	過疎型	31%	-36%	14%
宗谷	70,770	1%	4,051	5%	17.5	過疎型	27%	-36%	13%
北網	233,658	4%	5,542	7%	42.2	過疎型	26%	-27%	44%
遠紋	76,351	1%	5,148	7%	14.8	過疎型	31%	-33%	10%
十勝	348,597	6%	10,828	14%	32.2	地方都市型	25%	-20%	59%
釧路	247,320	4%	5,997	8%	41.2	過疎型	25%	-33%	41%
根室	80,569	1%	3,540	5%	22.8	過疎型	23%	-24%	50%

図 1-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012  
 (A. 「医療提供体制の現状」、表1-1、表1-2、表1-5、図1-4)

表 1-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
北海道	103,592	6.2%	1,881	61	55,561	6.1%	1,009	62	73,341	5.5%	109	57
南渡島	8,140	8%	2,022	64	4,467	8%	1,110	66	6,048	8%	109	56
南檜山	445	0%	1,693	58	269	0%	1,024	63	601	1%	131	67
北渡島檜山	1,074	1%	2,616	76	728	1%	1,773	93	729	1%	101	53
札幌	43,343	42%	1,850	61	23,602	42%	1,008	62	25,120	34%	110	57
後志	4,620	4%	1,983	63	1,994	4%	856	56	4,109	6%	109	57
南空知	3,487	3%	1,917	62	1,624	3%	893	57	3,107	4%	105	55
中空知	3,426	3%	2,887	81	1,227	2%	1,034	63	2,440	3%	120	62
北空知	1,260	1%	3,529	94	358	1%	1,003	62	909	1%	133	68
西胆振	5,795	6%	2,894	81	2,182	4%	1,090	65	2,891	4%	99	52
東胆振	3,292	3%	1,524	54	1,550	3%	717	50	2,707	4%	114	59
日高	1,277	1%	1,695	58	669	1%	888	57	1,064	1%	99	52
上川中部	8,310	8%	2,061	65	4,940	9%	1,225	71	6,417	9%	119	62
上川北部	1,162	1%	1,622	56	692	1%	966	60	1,355	2%	115	59
富良野	662	1%	1,455	53	348	1%	765	52	598	1%	93	49
留萌	849	1%	1,522	54	460	1%	825	55	1,005	1%	110	57
宗谷	882	1%	1,246	49	566	1%	800	53	997	1%	104	54
北網	3,727	4%	1,595	56	2,343	4%	1,003	62	3,325	5%	107	55
遠紋	1,436	1%	1,881	61	808	1%	1,058	64	1,194	2%	97	51
十勝	5,229	5%	1,500	54	3,383	6%	970	60	4,873	7%	112	58
釧路	4,239	4%	1,714	58	2,798	5%	1,131	67	3,126	4%	104	54
根室	937	1%	1,163	47	553	1%	686	49	726	1%	82	44

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 1-2 病床数（人口10万当たり）、総高齢者ベッド数（75歳以上1,000人当たり）

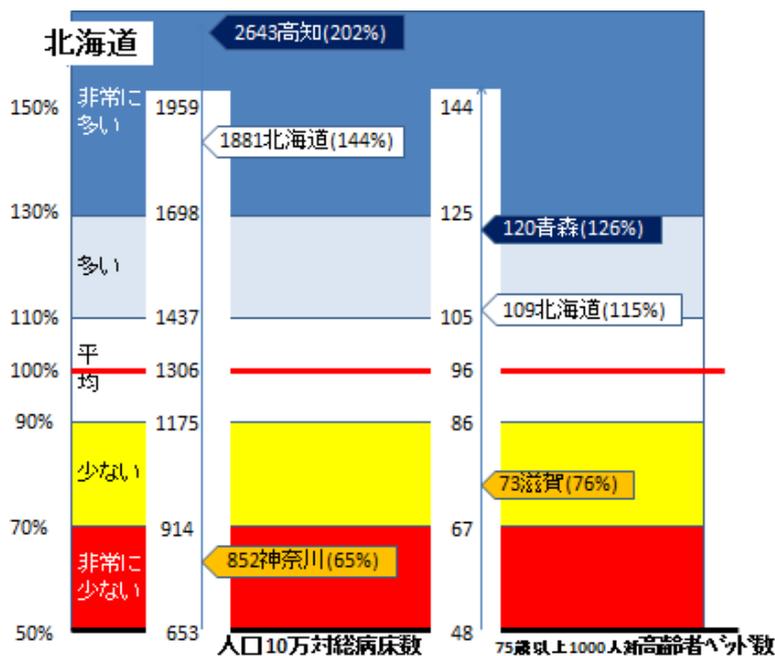


表 1-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養 病床数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値	回復期 病床数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値	精神病 床数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
北海道	23,197	7.0%	421	58	2,880	4.7%	52.3	51	21,334	6.1%	387	55
南渡島	1,372	6%	341	54	322	11%	80	57	1,893	9%	470	59
南檜山	126	1%	479	61		0%	0	39	50	0%	190	46
北渡島檜山	242	1%	589	66		0%	0	39	100	0%	244	49
札幌	9,723	42%	415	57	1,348	47%	58	52	8,560	40%	365	54
後志	1,159	5%	498	61	91	3%	39	48	1,357	6%	583	65
南空知	712	3%	391	56	44	2%	24	45	1,091	5%	600	65
中空知	851	4%	717	72	60	2%	51	51	1,278	6%	1,077	88
北空知	389	2%	1,089	90		0%	0	39	509	2%	1,426	105
西胆振	1,771	8%	884	80	194	7%	97	61	1,620	8%	809	75
東胆振	770	3%	356	55	142	5%	66	54	746	3%	345	53
日高	241	1%	320	53		0%	0	39	348	2%	462	59
上川中部	1,725	7%	428	58	311	11%	77	57	1,228	6%	305	52
上川北部	301	1%	420	58		0%	0	39	165	1%	230	48
富良野	140	1%	308	52		0%	0	39	170	1%	374	55
留萌	286	1%	513	62		0%	0	39	99	0%	177	45
宗谷	212	1%	300	52		0%	0	39	100	0%	141	44
北網	778	3%	333	53	25	1%	11	41	577	3%	247	49
遠紋	437	2%	572	65		0%	0	39	187	1%	245	49
十勝	1,005	4%	288	51	251	9%	72	55	494	2%	142	44
釧路	789	3%	319	53	92	3%	37	48	546	3%	221	48
根室	168	1%	209	47		0%	0	39	216	1%	268	50

表 1-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
北海道	8	3.9%	1.5	49	20	5.3%	3.6	52	4,596	5.2%	83.5	54
南渡島	1	13%	2.5	54	2	10%	5.0	56	353	8%	88	55
南檜山	0	0%	0	43	0	0%	0	42	3	0%	11	35
北渡島檜山	0	0%	0	43	0	0%	0	42	33	1%	80	53
札幌	3	38%	1.3	49	8	40%	3.4	51	2,286	50%	98	58
後志	0	0%	0	43	0	0%	0	42	176	4%	76	52
南空知	0	0%	0	43	0	0%	0	42	104	2%	57	47
中空知	0	0%	0	43	1	5%	8.4	65	74	2%	62	48
北空知	0	0%	0	43	0	0%	0	42	16	0%	45	44
西胆振	0	0%	0	43	1	5%	5.0	56	254	6%	127	65
東胆振	0	0%	0	43	1	5%	4.6	55	153	3%	71	51
日高	0	0%	0	43	0	0%	0	42	16	0%	21	38
上川中部	1	13%	2.5	54	3	15%	7.4	63	388	8%	96	57
上川北部	0	0%	0	43	0	0%	0	42	33	1%	46	44
富良野	0	0%	0	43	0	0%	0	42	29	1%	63	48
留萌	0	0%	0	43	0	0%	0	42	22	0%	39	42
宗谷	0	0%	0	43	0	0%	0	42	29	1%	40	43
北網	1	13%	4.3	61	1	5%	4.3	54	180	4%	77	52
遠紋	0	0%	0	43	0	0%	0	42	22	0%	29	40
十勝	1	13%	2.9	55	1	5%	2.9	50	242	5%	69	50
釧路	1	13%	4.0	60	2	10%	8.1	64	163	4%	66	49
根室	0	0%	0	43	0	0%	0	42	22	0%	27	39

表 1-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
北海道	7,263	4.6%	132	52	50,290	6.0%	913	61	89,348	5.0%	1,623	53
南渡島	539	7%	134	52	4,012	8%	997	65	8,088	9%	2,009	58
南檜山	22	0%	84	43	173	0%	658	50	0	0%	0	32
北渡島檜山	43	1%	105	47	474	1%	1,154	72	0	0%	0	32
札幌	3,552	49%	152	55	21,945	44%	937	63	42,232	47%	1,803	55
後志	210	3%	90	44	1,815	4%	779	55	1,998	2%	858	43
南空知	167	2%	92	44	1,434	3%	789	56	580	1%	319	36
中空知	184	3%	155	56	1,519	3%	1,280	78	2,638	3%	2,223	60
北空知	44	1%	123	50	464	1%	1,300	79	0	0%	0	32
西胆振	291	4%	145	54	2,286	5%	1,142	72	4,488	5%	2,241	61
東胆振	205	3%	95	45	1,667	3%	771	55	2,714	3%	1,256	48
日高	43	1%	57	38	411	1%	546	45	0	0%	0	32
上川中部	711	10%	176	60	4,298	9%	1,066	68	10,246	11%	2,541	64
上川北部	90	1%	126	51	592	1%	826	58	982	1%	1,371	50
富良野	41	1%	90	44	312	1%	685	51	260	0%	572	40
留萌	50	1%	90	44	364	1%	652	50	380	0%	681	41
宗谷	51	1%	72	40	458	1%	647	49	598	1%	845	43
北網	236	3%	101	46	1,904	4%	815	57	2,546	3%	1,090	46
遠紋	77	1%	101	46	654	1%	856	59	660	1%	864	43
十勝	379	5%	109	47	2,809	6%	806	57	5,352	6%	1,535	52
釧路	275	4%	111	48	2,308	5%	933	62	5,586	6%	2,259	61
根室	53	1%	66	39	393	1%	488	42	0	0%	0	32

図 1-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

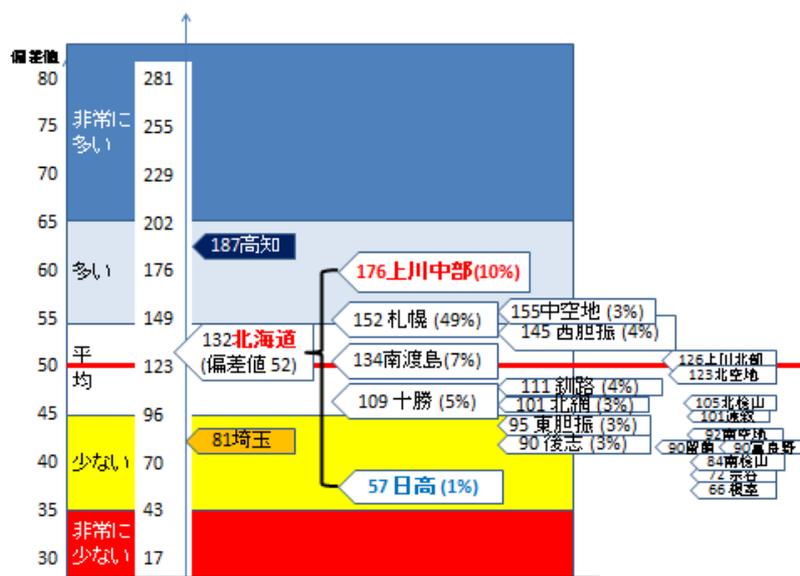


図 1-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

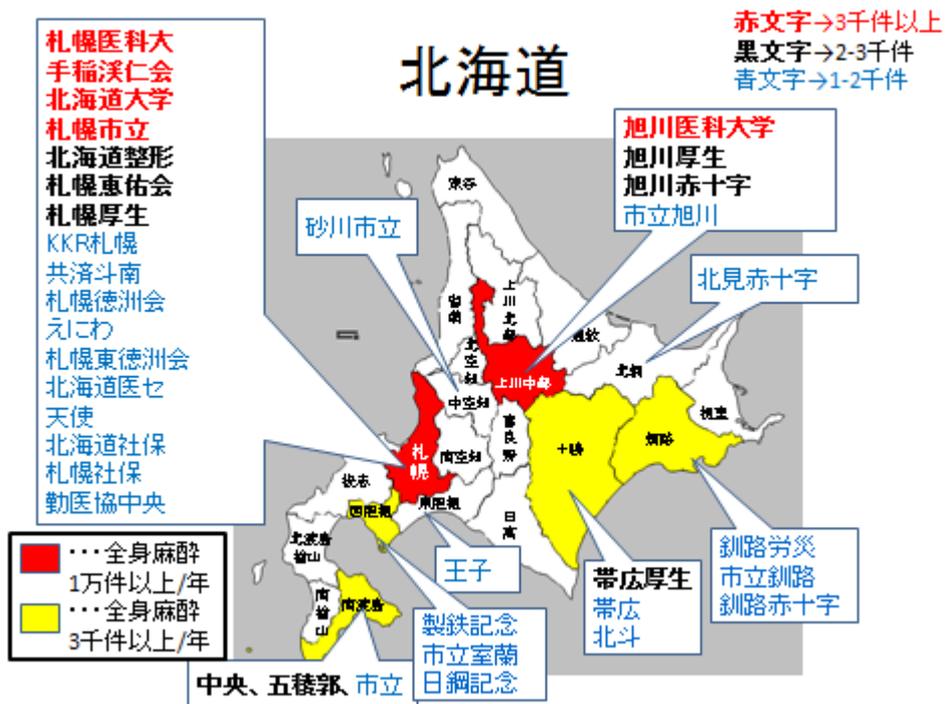
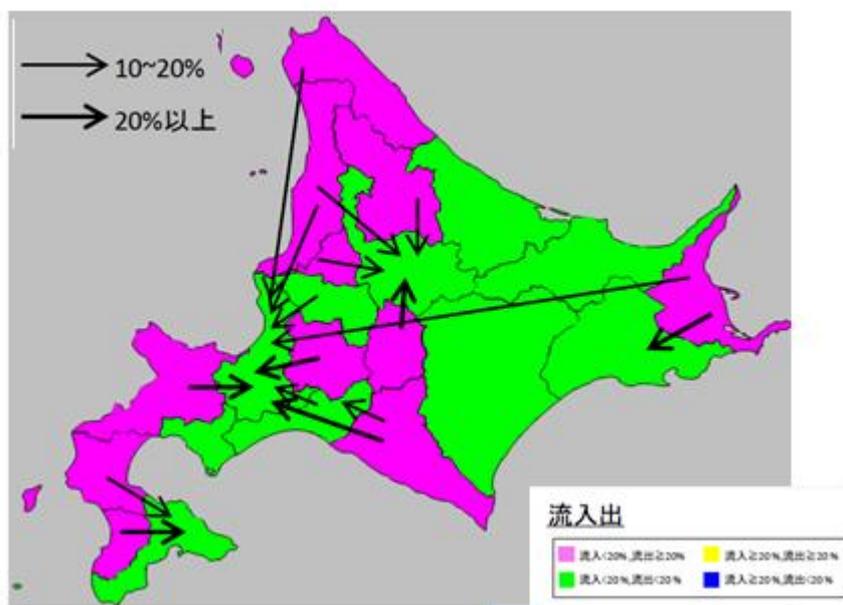


図 1-5 二次医療圏（流入出）



厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H. 24. 3  
(図 1 - 5)

表 1-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
北海道	33,032	4.7%	49	49	14,048	4.6%	21	48	18,984	4.8%	28	50
南渡島	2,817	9%	51	50	1,394	10%	25	56	1,423	7%	26	47
南檜山	370	1%	80	76	80	1%	17	42	290	2%	63	85
北渡島檜山	485	1%	67	65	150	1%	21	48	335	2%	46	68
札幌	9,455	29%	42	43	4,691	33%	21	48	4,764	25%	21	43
後志	1,868	6%	50	50	736	5%	20	46	1,132	6%	30	52
南空知	1,637	5%	56	55	830	6%	28	61	807	4%	27	49
中空知	1,243	4%	61	59	397	3%	19	46	846	4%	42	63
北空知	560	2%	82	78	170	1%	25	55	390	2%	57	79
西胆振	1,452	4%	50	50	578	4%	20	46	874	5%	30	52
東胆振	1,229	4%	52	51	499	4%	21	48	730	4%	31	52
日高	651	2%	61	59	175	1%	16	40	476	3%	44	66
上川中部	2,400	7%	45	45	1,240	9%	23	52	1,160	6%	22	43
上川北部	780	2%	66	64	220	2%	19	44	560	3%	47	69
富良野	386	1%	60	58	100	1%	15	39	286	2%	44	66
留萌	569	2%	62	60	129	1%	14	36	440	2%	48	70
宗谷	778	2%	81	77	190	1%	20	46	588	3%	62	83
北網	1,439	4%	46	47	589	4%	19	45	850	4%	27	49
遠紋	650	2%	53	52	200	1%	16	40	450	2%	36	58
十勝	2,433	7%	56	55	1,020	7%	23	53	1,413	7%	32	54
釧路	1,470	4%	49	49	540	4%	18	43	930	5%	31	53
根室	360	1%	41	42	120	1%	14	35	240	1%	27	49

表 1-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
北海道	40,309	6.3%	60	58	10,234	4.3%	15.3	49	13,362	8.5%	19.9	65
南渡島	3,231	8%	58	57	841	8%	15.1	48	1,015	8%	18.2	62
南檜山	231	1%	50	53	20	0%	4.3	39	87	1%	18.9	63
北渡島檜山	244	1%	34	44	35	0%	4.8	39	117	1%	16.2	58
札幌	15,665	39%	69	63	5,273	52%	23.2	56	4,655	35%	20.4	65
後志	2,241	6%	60	58	347	3%	9.2	43	957	7%	25.4	74
南空知	1,470	4%	50	52	137	1%	4.6	39	445	3%	15.1	57
中空知	1,197	3%	59	57	233	2%	11.4	45	276	2%	13.5	54
北空知	349	1%	51	53	59	1%	8.6	43	90	1%	13.2	53
西胆振	1,439	4%	49	52	181	2%	6.2	40	423	3%	14.5	55
東胆振	1,478	4%	62	59	134	1%	5.6	40	525	4%	22.0	68
日高	413	1%	39	46	71	1%	6.6	41	135	1%	12.6	52
上川中部	4,017	10%	75	66	1,205	12%	22.4	55	1,556	12%	28.9	79
上川北部	575	1%	49	52	137	1%	11.6	45	171	1%	14.5	55
富良野	212	1%	33	43	10	0%	1.5	36	72	1%	11.1	50
留萌	436	1%	48	51	180	2%	19.6	53	126	1%	13.7	54
宗谷	219	1%	23	38	10	0%	1.0	36	104	1%	10.9	49
北網	1,886	5%	60	58	186	2%	6.0	40	743	6%	23.8	71
遠紋	544	1%	44	49	70	1%	5.7	40	179	1%	14.5	56
十勝	2,440	6%	56	56	522	5%	12.0	46	950	7%	21.8	68
釧路	1,656	4%	55	55	532	5%	17.7	51	601	4%	20.0	65
根室	366	1%	42	48	51	0%	5.8	40	135	1%	15.3	57

表 1-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
北海道		4%	-33%	-11%	-25%	54%	45%
南渡島	2	-10%	-40%	-22%	-33%	27%	20%
南檜山	3	-21%	-50%	-41%	-46%	9%	4%
北渡島檜山	3	-22%	-52%	-39%	-47%	7%	2%
札幌	1	23%	-24%	14%	-12%	96%	82%
後志	3	-18%	-44%	-33%	-40%	9%	4%
南空知	3	-13%	-42%	-30%	-37%	19%	13%
中空知	3	-18%	-45%	-41%	-43%	13%	7%
北空知	3	-19%	-48%	-44%	-46%	10%	5%
西胆振	3	-13%	-41%	-39%	-40%	27%	18%
東胆振	3	7%	-35%	-13%	-27%	73%	60%
日高	3	-12%	-41%	-25%	-35%	22%	16%
上川中部	2	2%	-38%	-19%	-30%	54%	44%
上川北部	3	-20%	-46%	-39%	-43%	9%	4%
富良野	3	-9%	-37%	-19%	-30%	21%	16%
留萌	3	-18%	-47%	-39%	-44%	14%	8%
宗谷	3	-19%	-45%	-32%	-40%	13%	7%
北網	3	-3%	-41%	-19%	-33%	44%	36%
遠紋	3	-18%	-43%	-34%	-39%	10%	4%
十勝	2	6%	-35%	-9%	-26%	59%	49%
釧路	3	-10%	-46%	-29%	-39%	41%	31%
根室	3	-1%	-36%	-14%	-28%	50%	40%

図 1-6 北海道（西部）2010年→35年介護医療需要の増減予測

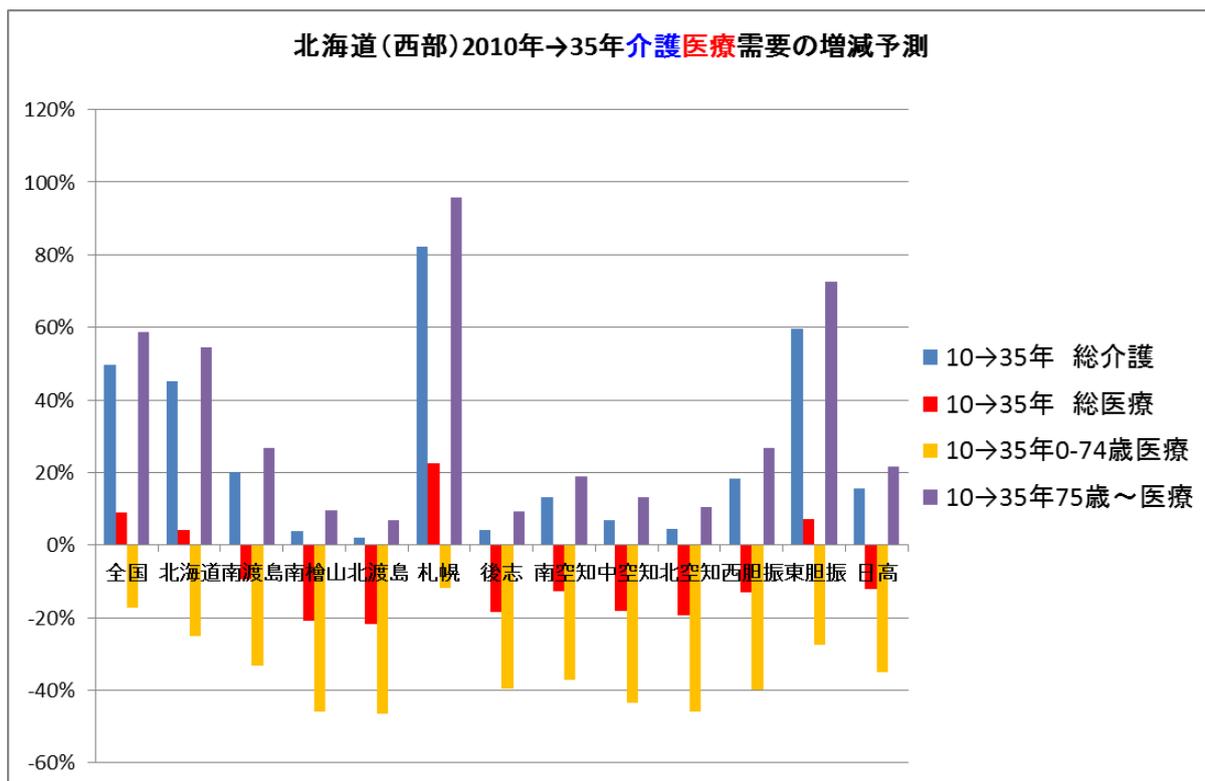


図 1-7 北海道（東部）2010年→35年介護医療需要の増減予測

